

【ご紹介】

オープンキャンパスでの学友会のレクチャー

現役診療放射線技師による仕事の魅力を紹介する

7月、8月のオープンキャンパスでは学友会本部の協力で、装置を用いて高校生と同伴の保護者に検査方法や画像の見え方を紹介しています。

2年前の令和元年は奈良の天理よろづ相談所病院と、大阪の住友病院の学友会会員が担当しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協力できませんでした。

今年は京都桂病院と京都第二赤十字病院が担当しました。コロナ禍のなかでの来場型を実施したため、全ての方への安全安心を目標に、検温やマスク、アイシールド(8月より)の着用、ソーシャルディスタンスの確保、飲み物のみ許可等、感染予防を徹底しました。

それぞれの病院ごとのスクラブやケーシーの上に学友会白衣を着て集合、キャンパス開始してすぐに診療放射線技師の業務内容を紹介、ポータブルでの撮影デモンストレーションを行った後、高校生たちはグループに分かれキャンパスツアーに赴きました。

実験フロアでの装置ごとのレクチャーについては、一般撮影は感染症対策の様子や撮影方法、胸部写真での肺炎像を説明し、CTに引継いで患者の位置合わせなどを行っていました。

マンモグラフィは、撮影体位、圧迫の強さ、がんの見え方を説明し、MRIでは磁場の強さ、画像の見え方、音の大きさを説明していました。



学長と第二赤十字病院グループ



<キャンパスの参加者>

7月17日(土) 全体:69組 118名(スタッフ:京都桂病院)

8月8日(日) 全体:90組 148名(スタッフ:京都第二赤十字病院)

8月21日(土) 全体:55組 81名(スタッフ:京都桂病院)

参加者のアンケートは以下の通り(抜粋)

- ☆ 診療放射線技師の仕事がよく分かった。
- ☆ この学校で学びたい意欲が増した。
- ☆ 説明がとても分かりやすかった。
- ☆ 校内の雰囲気や最新の機器を使っているところがとても良かった。
- ☆ 実際に来て、インターネットではわからなかったことがよく分かった。

以上